

NID
 平成30年度大阪府感染症対策審議会麻疹及び風しん対策部会
 日時：平成31年2月28日（木）14:30-16:00
 場所：大阪赤十字会館（日本赤十字社大阪府支部）302会議室
 （大阪市中央区大手前2丁目1番7号）

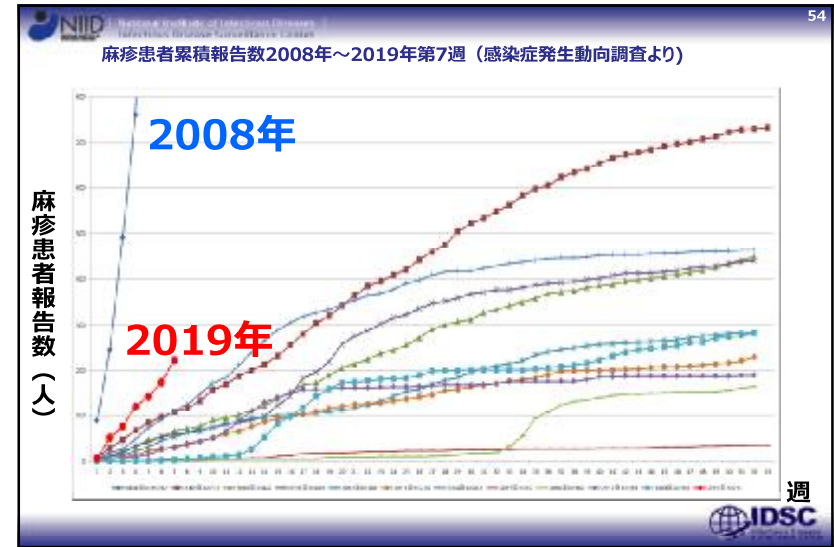
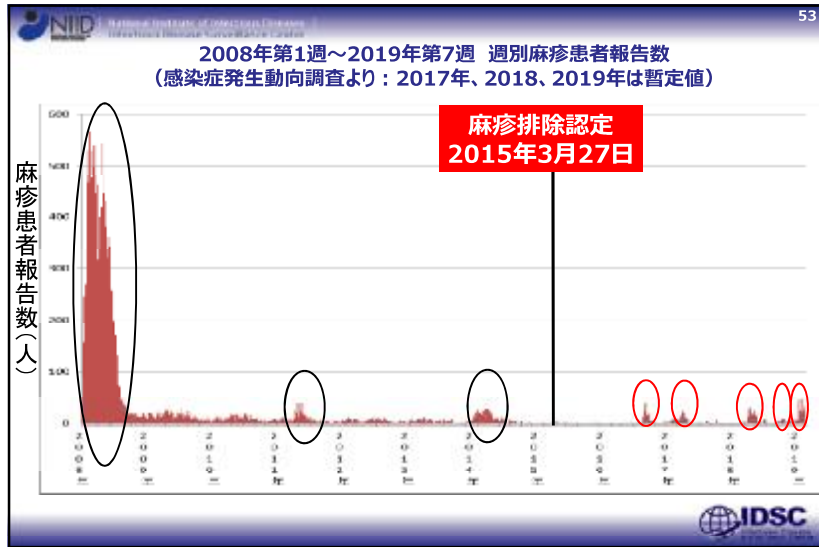
麻疹の最新情報

国立感染症研究所 感染症疫学センター
 多屋 馨子（たやけいこ）

IDSC

49



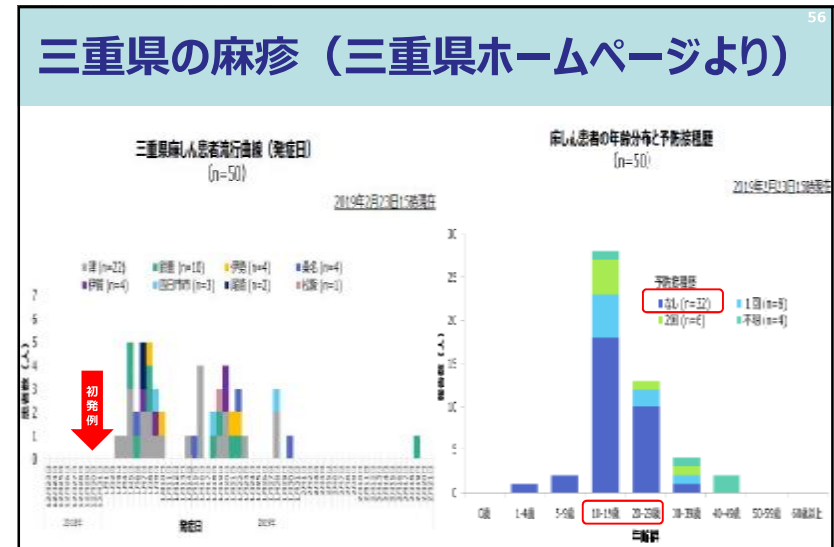


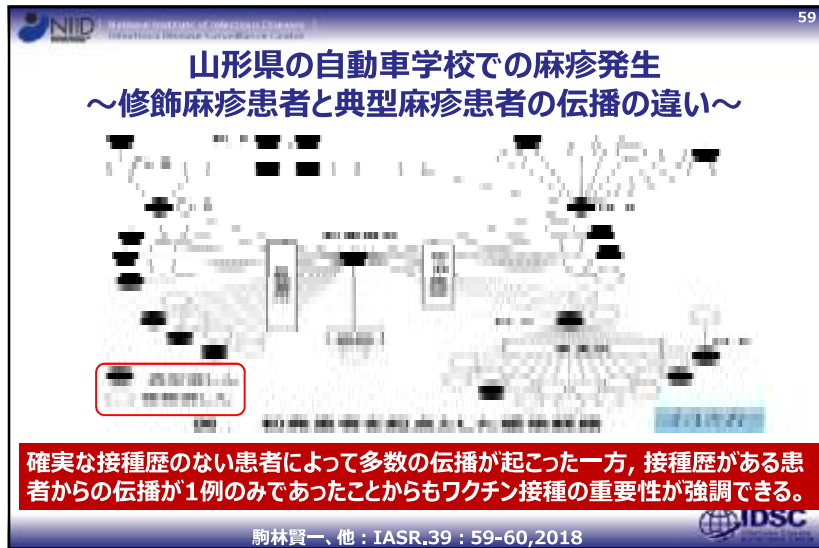
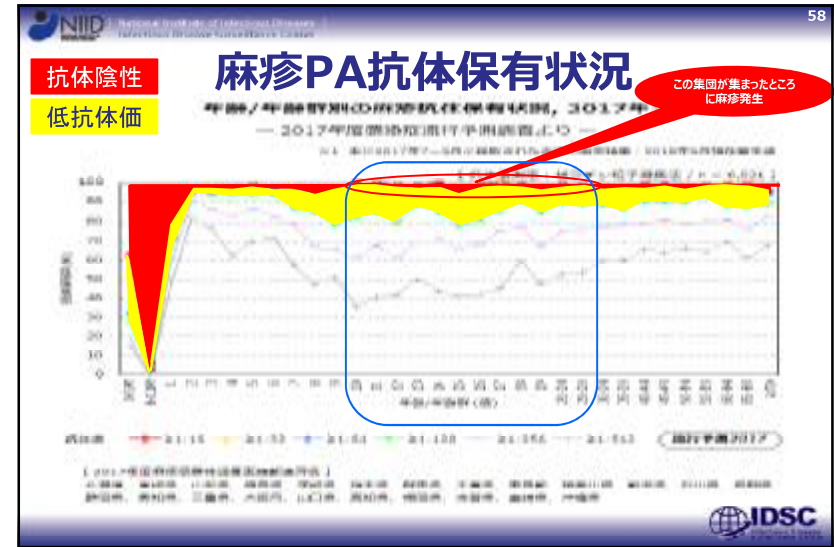
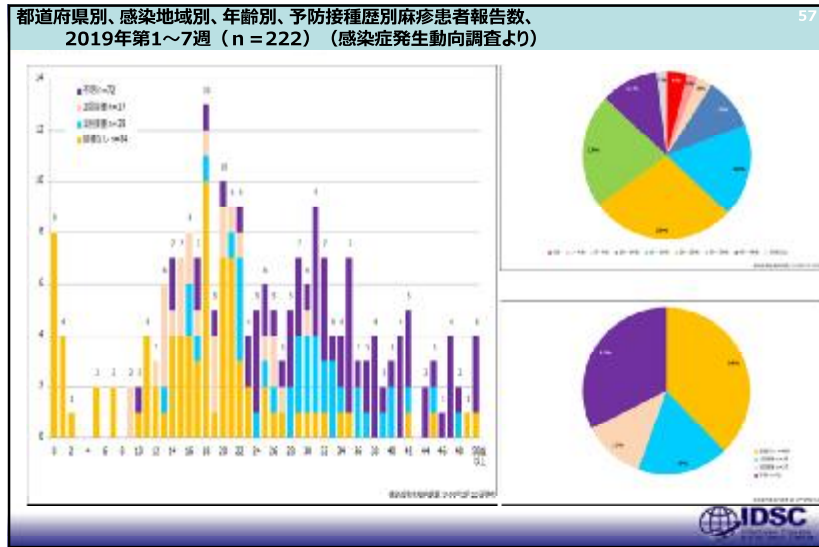
三重県内の麻疹患者発生状況 (2019年2月23日15時現在) 合計50人

県内5種感染症(平成31年)発生状況 (平成31年2月23日15時現在)

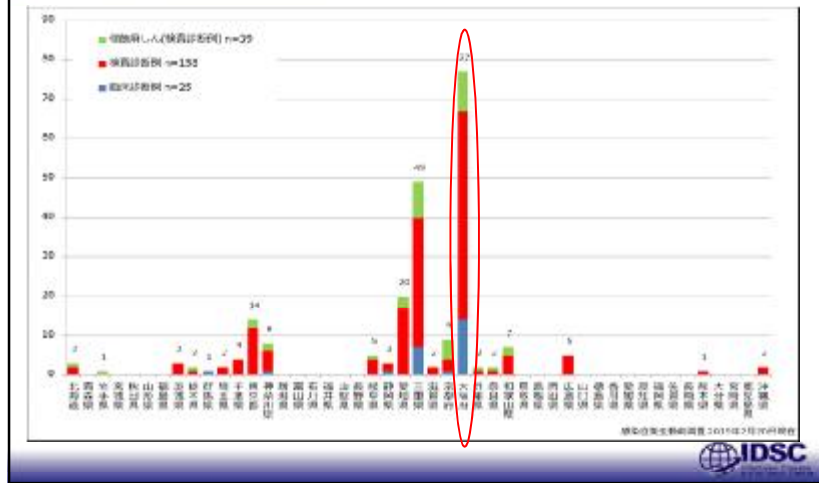
| 患者No. | 性別 | 年代 | 居住地 | 今学期罹患 | 発生曜日 | 経過情報 | 備考 |
|-------|----|-----|-----|-------|-------|-------|----------------------------|
| 32 | 男 | 1歳代 | 津市 | 2回 | 1月21日 | 1月22日 | ● 患者4・12小学校で接触 |
| 33 | 女 | 1歳代 | 伊勢市 | 本回 | 1月21日 | 1月22日 | ● 患者6の家族 |
| 34 | 男 | 1歳代 | 伊勢市 | 本回 | 1月21日 | 1月22日 | ● 患者6の家族 |
| 35 | 男 | 1歳代 | 津市 | 本回 | 1月21日 | 1月22日 | ● 患者12・21小学校で接触 |
| 36 | 男 | 1歳代 | 津市 | 本回 | 1月21日 | 1月22日 | ● 患者12・21小学校で接触 |
| 37 | 女 | 2歳代 | 津市 | 1回 | 1月22日 | 1月23日 | ● 患者4・12小学校で接触 |
| 38 | 女 | 2歳代 | 津市 | 本回 | 1月23日 | 1月23日 | ● 患者7・12小学校で接触 |
| 39 | 男 | 1歳代 | 津市 | 2回 | 1月23日 | 1月24日 | ● 患者12・21小学校で接触 |
| 40 | 男 | 2歳代 | 津市 | 5回 | 1月24日 | 1月25日 | ● 患者6の接触、感染症の発生(2月4日) |
| 41 | 女 | 1歳代 | 津市 | 2回 | 1月24日 | 1月25日 | ● 患者4・12小学校で接触 |
| 42 | 男 | 1歳代 | 伊勢市 | 1回 | 1月25日 | 1月25日 | ● 患者17・18小学校で接触 |
| 43 | 男 | 1歳代 | 伊勢市 | 2回 | 1月26日 | 1月26日 | ● 患者17・18小学校で接触 |
| 44 | 男 | 2歳代 | 津市 | 本回 | 1月26日 | 1月26日 | ● 患者4の家族、実母と接触との接触、県立病院で入院 |
| 45 | 男 | 1歳代 | 津市 | 5回 | 1月26日 | 1月26日 | ● 患者33の家族 |
| 46 | 男 | 1歳代 | 津市 | 5回 | 1月26日 | 1月26日 | ● 患者33の家族 |
| 47 | 男 | 2歳代 | 津市 | 5回 | 1月26日 | 1月26日 | ● 患者21・22の家族 |
| 48 | 女 | 2歳代 | 津市 | 5回 | 1月26日 | 1月26日 | ● 患者4の家族 |
| 49 | 女 | 2歳代 | 津市 | 2回 | 2月1日 | 2月4日 | ● 患者12・21小学校で接触 |
| 50 | 男 | 1歳代 | 津市 | 1回 | 2月22日 | 2月22日 | ● 2月22日に伊勢市で発生した患者の接触 |

注：備考欄「接触」とは、感染症患者が接触した日時が記載されています。12歳以上の場合は「12歳以上」と記載しています。
● 県内5種感染症発生状況
● 患者4・12小学校で接触
● 患者6の家族
● 患者7・12小学校で接触
● 患者12・21小学校で接触
● 患者17・18小学校で接触
● 患者21・22の家族
● 患者33の家族

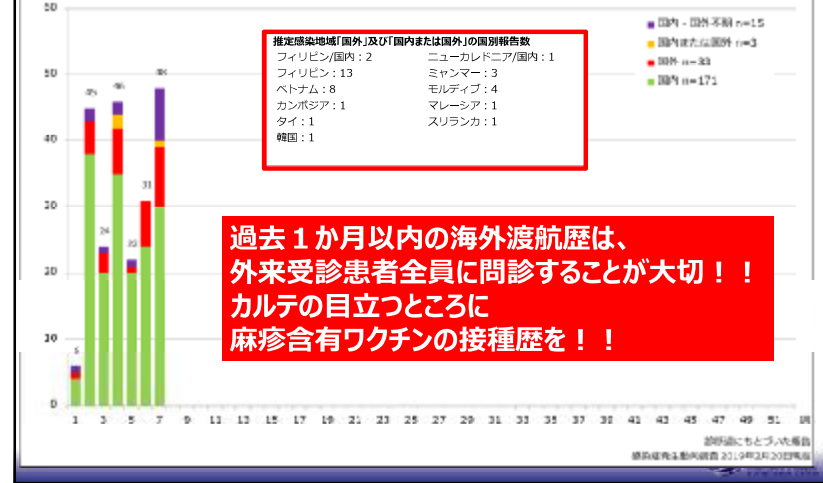




都道府県別、感染地域別、年齢別、予防接種歴別麻疹患者報告数、
2019年第1~7週 (n = 222) (感染症発生動向調査より)



都道府県別、感染地域別、年齢別、予防接種歴別麻疹患者報告数、
2019年第1~7週 (n = 222) (感染症発生動向調査より)



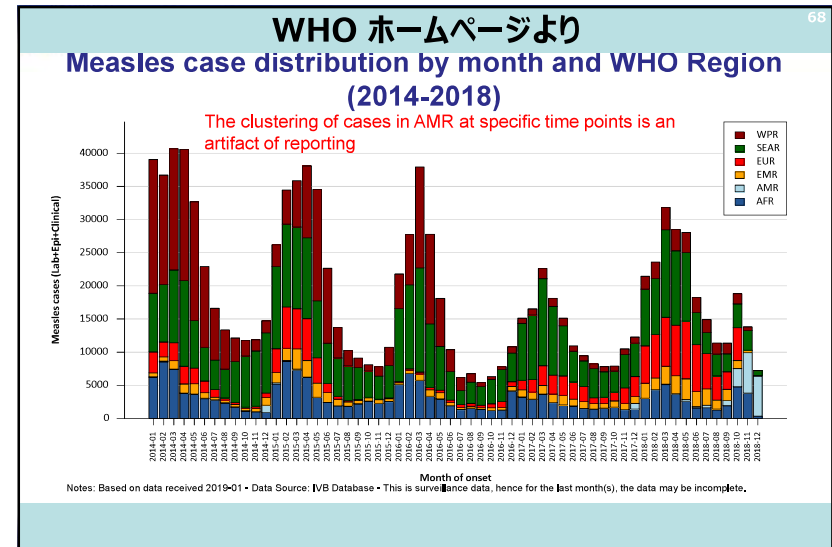
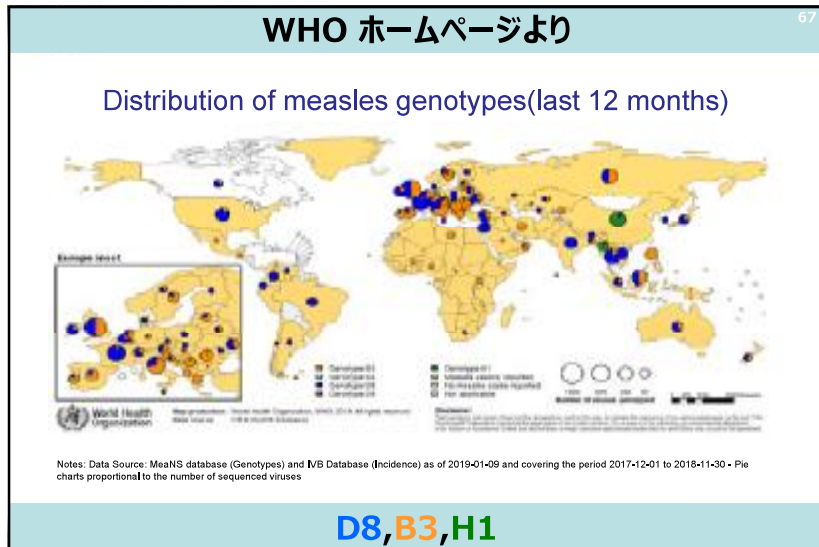
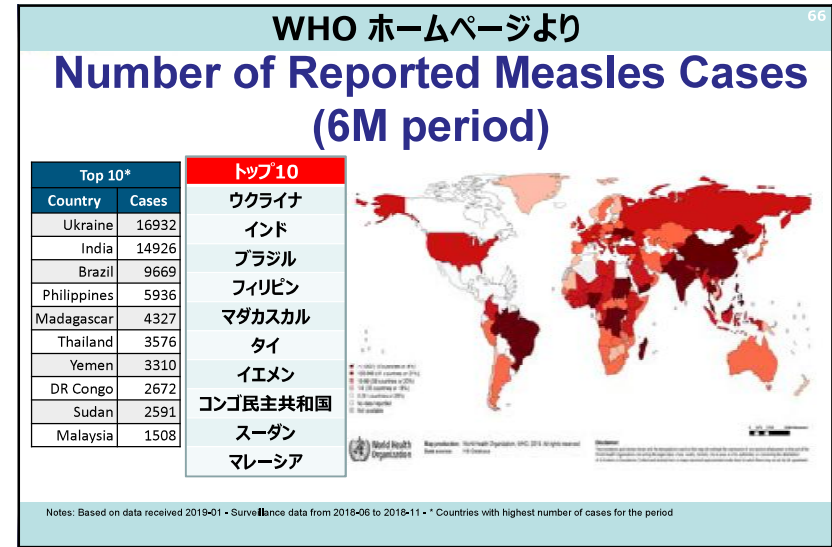
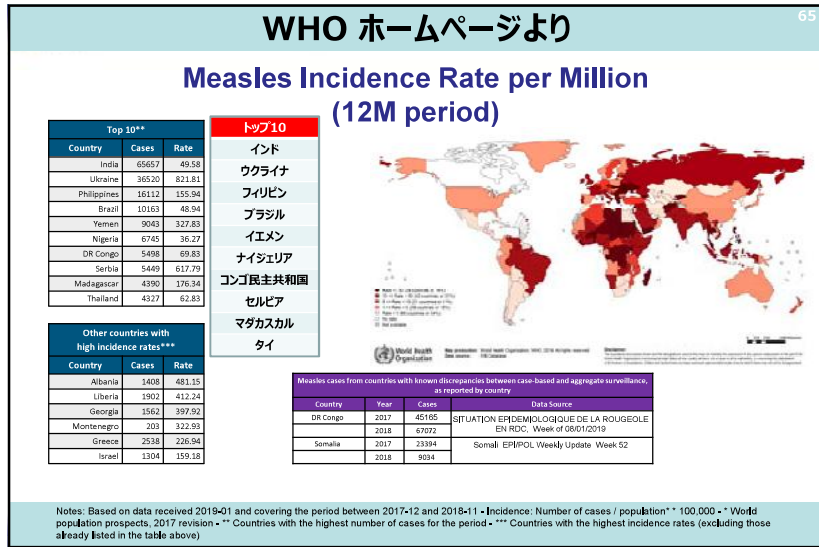
NID 国立感染症研究所
輸入麻疹症例の最新月および検定感染地域別の流行曲線、2018年2月-2019年1月
[Number of reported imported measles cases by month and country visited, Japan, February 2018-January 2019]



WHO ホームページより

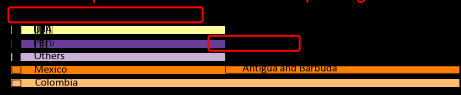
Global Measles and Rubella Update January 2019

Note: EURO data has not been updated in this monthly update, and data submitted by EURO on December 7, 2018 is being used here.



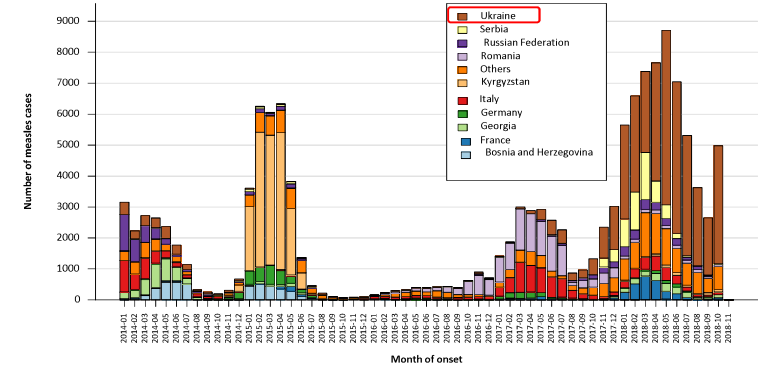
WHO ホームページより

The clustering of cases at specific time points is an artifact of reporting



WHO ホームページより

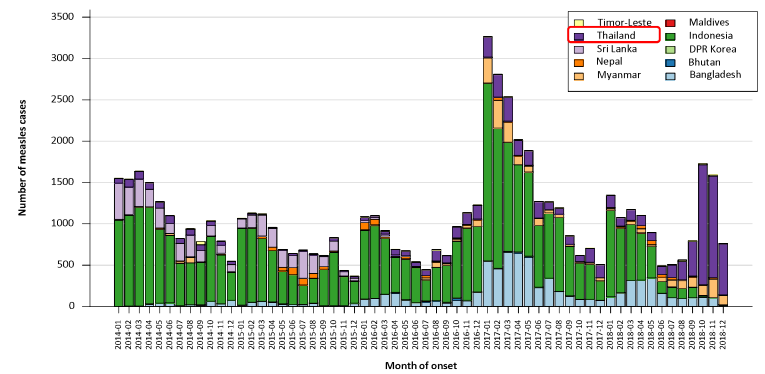
Measles case distribution (EUR), 2014-2018



Notes: Based on data received 2018-12 • Data Source: IVB Database

WHO ホームページより

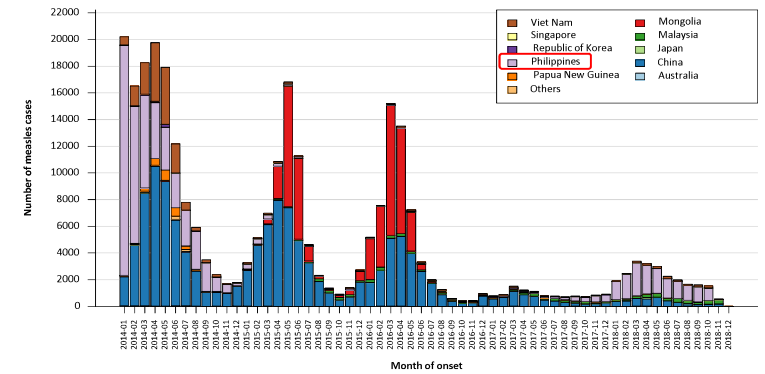
Measles case distribution (SEAR (excl. India), 2014-2018



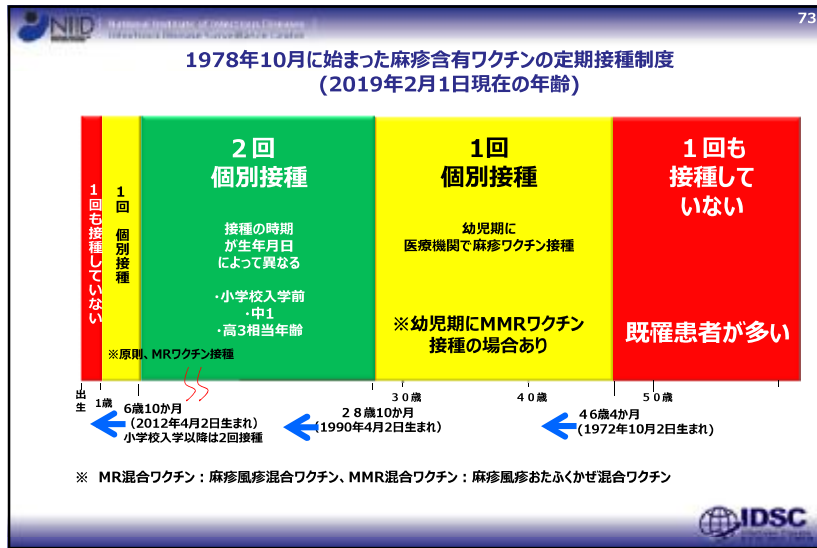
Notes: Based on data received 2019-01 • Data Source: IVB Database

WHO ホームページより

Measles case distribution (WPR), 2014-2018



Notes: Based on data received 2019-01 • Data Source: IVB Database



1978年10月に始まった麻疹含有ワクチンの定期接種制度
(2019年2月1日現在の年齢)

しかし、これはあくまでも
予防接種の制度です。
その人が受けているかどうかは
記録を確認しなければ
わかりません

※ MR混合ワクチン：麻疹風疹混合ワクチン、MMR混合ワクチン：麻疹風疹おたふくかぜ混合ワクチン

IDSC

都道府県別接種率2017年度

| 都道府県 | 接種率 (%) | 未接種人数 |
|------|---------|---------|
| 北海道 | 96.0% | 40,098人 |
| 青森県 | 93.4% | 70,219人 |

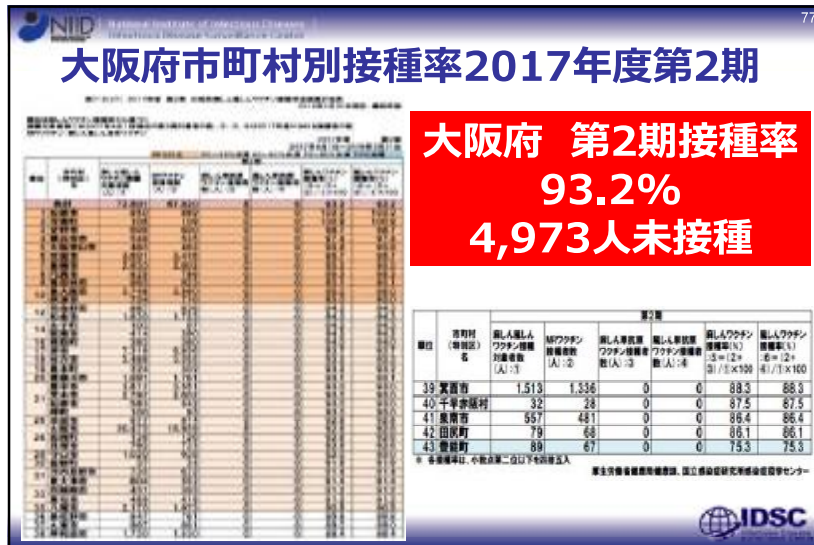
IDSC

大阪府市町村別接種率2017年度第1期

大阪府 第1期接種率
97.3%
1,883人未接種

| 市町村 | 接種率 (%) | 未接種人数 |
|--------|---------|-------|
| 39 島本町 | 90.0 | 90.0 |
| 40 泉南町 | 88.7 | 88.7 |
| 41 泉南市 | 86.1 | 86.1 |
| 42 河津町 | 77.9 | 77.9 |
| 43 田尻町 | 76.6 | 76.6 |

IDSC



NIID National Institute of Infectious Diseases
 78

麻疹が発生した時の対応（その1）

- 一人発生したらすぐ対応！
- 全例の検査診断！
 - IgM抗体価は発疹出現後4日以降に検査しないと陽性になっていない
 - 診断が遅れるため、麻疹IgM抗体価の結果を待たない
- 保健所の積極的疫学調査に協力！

IDSC

NIID National Institute of Infectious Diseases
 79

麻疹が発生した時の対応（その2）

- 典型麻疹では空調を共有する場所にいた人全員が麻疹ウイルスの曝露を受けたと考える
- 麻疹ウイルスは環境中で長期間生存できないので、退室後～(1)2時間まで
- 施設内の空調を調べておくと発生時に役に立つ
- 修飾麻疹では近くで接触した人が麻疹ウイルスの曝露を受けたと考える（空気感染対策までは不要）

IDSC

NIID National Institute of Infectious Diseases
 80

麻疹が発生した時の対応（その3）

- 医療機関・児童福祉機関（保育所等）・教育機関に勤務する人は、1歳以上で2回の予防接種の記録、あるいは検査診断された麻疹の罹患歴を、個人と所属機関の両方で保管
- 医療機関勤務者の発症が目立つ（特に、事務職員の発症が目立つ。医師、看護師、看護助手の発症もあり。）
 - 派遣職員、非常勤職員、ボランティア活動をしている人等への対応も忘れないことが大切
 - 麻疹は救急搬送も多い。救急車に乗る職種はワクチンを！
 - 処方箋薬局での接触も多い。ここで勤務する人も！

IDSC

NIID 81

麻疹が発生した時の対応（その4）

- 曝露を受けたと考えられる人への**電話連絡**
- 曝露後5～21日は**毎朝・夕の検温**を依頼
- 毎朝・夕検温で、小児は37.5℃以上、成人は37.0℃以上の**発熱**があれば、一旦麻疹を疑って、勤務・学校を休み、指定された医療機関あるいは保健所に電話連絡（具体的に説明する！）
- 曝露後**72時間以内**の麻疹風疹混合（MR）ワクチン接種
- 曝露後**72時間を過ぎていた**としても、感染していない可能性が考慮できるのであれば、間に合わない可能性を丁寧に説明した上で、**3次感染予防としてのMRワクチン接種**を検討
- ヒト免疫グロブリン製剤はできるだけ使いたくない

IDSC

NIID 82

麻疹が発生した時の対応（その5）

- 曝露を受けた人のうち、
- **MRワクチンの接種不相当者に該当する場合**（妊婦、免疫抑制状態にある者等）は、
- **大至急麻疹IgG抗体をEIA法あるいはPA法で検査**
 - IgG抗体陰性あるいは低抗体価であった場合は、**ヒト免疫グロブリン製剤の筋注を検討**（健康保険適用あるが、血液製剤、投与量が多く疼痛を伴う）

IDSC

NIID 83

事前の予防が大切です！！

過去1か月以内の**海外渡航歴**を問診に含めてください
院内にいる人全員の**予防接種歴**を記録で確認してください
典型麻疹患者さんの診療・看護の時は十分な予防を

記録（きろく）と記憶（きおく）
ひらがな一文字大違い！！

IDSC

NIID 84

渡航前・職場の麻疹対策

- **麻疹に対して、特にハイリスクと考えられる職場**
 - 医療機関
 - 保育所
 - 学校
 - 不特定多数の人と接触する職場
 - 海外から渡航する人々との接触が多い職場
 - 事前に記録に基づくワクチン接種歴と罹患歴リストを作っておくといざというときに役立ちます！！⇒ **感受性者には対応を済ませておく！！**
 - 明日、患者さんが発生した時にすぐ使えるように・・・

IDSC

NIID National Institute of Infectious Diseases
 International Vaccine Institute
 85

今すぐワクチンを受けて欲しい……

- 麻疹未罹患で、1歳以上で2回の予防接種歴記録がない医療関係者（救急隊を含む）・保育関係者
- 第1期で未接種未罹患の人（定期接種）
- 第2期で未接種未罹患の人（定期接種）
- 2歳以上で未接種未罹患の人
- 未接種未罹患で、多くの人と接触する職業の人
- 未接種未罹患あるいは1回接種あるいは接種歴罹患歴不明で海外に渡航する人

IDSC

NIID National Institute of Infectious Diseases
 International Vaccine Institute
 86

忘れてはならないこととして……

- どんなに緊急接種であっても、強制は×
- どんなに緊急接種であっても、接種不相当者の人に接種してはならない（予診重要）
 - 妊娠中の女性、妊娠の可能性のある女性、免疫抑制剤あるいは副腎皮質ステロイド等の投与を受けている免疫抑制状態の人、ワクチンの成分でアナフィラキシーを起こす可能性がある人等
- 女性は接種後2か月間は妊娠を避ける必要がある
- 副反応を疑う症状の説明と認められた時の対応を知らせておくこと

IDSC

NIID National Institute of Infectious Diseases
 International Vaccine Institute
 87

今年、麻疹が心配！

- 救急、内科、皮膚科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科は特に要注意。
- いつふらりと患者さんが受診するかもしれません
- 少なくとも、医療機関のスタッフは、受付の事務職員を含めて全員が、
 - 1歳以上で2回のワクチン接種「記録」を確認する
 - 罹患歴があると思っている人は必ず抗体検査で確認をしておく
 のどちらかを確実にしておくことが大切だと思います
 保健所・救急車・処方箋薬局で勤務する者も、是非……

備えあれば憂い無し

IDSC

NIID National Institute of Infectious Diseases
 International Vaccine Institute
 88

国立感染症研究所 感染症疫学センター

センター長：大石和徳

- 第1室（感染症対策計画室）
 - 松井珠乃、大日康史、神谷 元、重松美加、島田智恵、菅原民枝、福住宗久、八幡裕一郎、山岸拓也、宮川雅美(WPRO)
 - FETP：川上、上月、加賀、竹田、土井、柿本、藤倉
- 第2室（感染症情報室）
 - 砂川富正、加納和彦、駒瀬勝啓、齋藤剛仁、椎野禎一郎、高橋琢理、土橋西紀、中里 篤
- 第3室（予防接種室）
 - 多屋馨子、新井 智、佐藤 弘、新橋玲子、森野紗衣子
- 第4室（病原診断室）
 - 藤本嗣人、花岡 希
- 第5室（細菌研修室）
 - 村上光一
- 第6室（ウイルス研修室）
 - 岡本真世子
- 感染症情報管理専門官：宮間浩司

2019年2月28日現在

IDSC